

明日を担う若手職員を紹介します！

No.3 港湾課 技師 白岩知紘さん

美しい県づくり NEWS では、県土整備部の明日を担う若手職員への突撃 お仕事インタビューを掲載しています。若手職員の日頃の仕事内容や、仕事に対する心意気などをご紹介しますので、ご期待ください。

第3回は、**県庁港湾課の白岩技師**です。

Q1 担当している仕事を教えてください

平成17年度入庁

二戸地方振興局土木部(現 県北広域振興局土木部二戸土木センター)で主に道路維持工事を担当
(現在)港湾課2年目

岩手県内の港湾整備関係予算の管理や、港湾の社会資本総合整備計画の策定などの業務に携わっています。



Q2 仕事の面白いところはありますか？

二戸では、道路の維持工事や改良工事の現場監督などの業務をしていました。港湾課では、現場での仕事と全く異なる予算管理業務に携わり、現場ではわからなかった国や県の予算の流れなどを理解することができました。また、事業の立案から、現場での工事完成に至る一連の流れが把握でき、とてもやりがいがある仕事です。

Q3 仕事の難しいところはありますか？

岩手県の港湾は、数が多く、それぞれに歴史があり、それらを理解したうえで事業を進めることが必要です。また、港湾は、特に経営の観点が必要視され、港湾の今後の利用を見据えた上で慎重に整備を進めなければならないことが難しいと感じています。

Q4 どんな職場ですか？

港湾課は9名と小さな所帯で、技師は私一人で若干の寂しさを感じますが、仕事で行き詰った時でも的確なアドバイスをしてくれる心強い先輩方がいるので、大変助かっています。また、仕事のみならず、飲み会などでも和気あいあいとしており、とても居心地のいい職場です。

Q5 最後に一言(今後の抱負など)！

常に適正な予算管理を念頭におき、プラスで何かできないかを考えながら、元気をだして仕事に取り組んでいきたいと思います!!

職場の様子。左が私、右は前回に引き続きなぜか今回も登場?の沿岸広域振興局土木部宮古土木センターの菊地技師です。

